

株主通信

第50期 中間報告書

2013年4月1日～2013年9月30日

P1 ▶



【株主の皆様へ】

**市場の変化に柔軟に対応、成長への
諸施策を実行**

P3 ▶ 連結業績ハイライト

P4 ▶ 主要な事業内容

P5 ▶ 地域別売上高の概況

P7 ▶ 連結決算概要

P9 ▶



【ニュース&ピックアップ】

■ 中山由起枝選手、世界クレール射撃選手権大会で銀メダル獲得!!

■ 世界最大級の建機見本市『BAUMA2013』に出展

■ ASTACO-SoRa ～地域の復興を願い開発された双腕ロボット～

P12 ▶ 企業情報／株式の状況



市場の変化に柔軟に対応し、 成長への諸施策を 実行してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第50期第2四半期連結累計期間の当社グループにおける取り組みや、
今後の施策についてご報告申し上げます。

2013年11月

代表執行役 執行役社長 

日本・中国等一部の地域では、緩やかな景気の回復が見られたものの、東南アジアやインド等では低迷が続きました。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、日本では景気は緩やかに回復し、中国でも輸出・生産の伸びが持ち直しましたが、東南アジアやインドでは景気が減速しました。

油圧ショベルを中心とした建設機械市場は、日本

では住宅着工の増加と復興需要をはじめとした公共投資の増加により需要は好調に推移し、中国でも、インフラ投資の増加により回復しました。一方、インドネシアやインドでは需要が大きく落ち込みました。

マイニング(鉱山)機械市場については、鉱物資源の価格下落の影響により、インドネシア・オーストラリア等の鉱山向けの需要が減少しました。

2014年3月期第2四半期(累計)の連結業績

■ 売上高 **3,737** 億円
前年同期比 **0.8%** 減 

■ 営業利益 **250** 億円
前年同期比 **19.6%** 増 

■ 経常利益 **168** 億円
前年同期比 **22.0%** 増 

■ 四半期純利益 **107** 億円
前年同期比 **33.6%** 減 



シェア向上、原価の低減等の経営の効率化に取り組みました。

このような情勢の中、収益確保をめざしてシェア向上、原価低減、経営の効率化に取り組んできました。

建設機械については、日本では排ガス規制に対応した新型機の拡販に努めると共に、お客様の機械を総合的にサポートする新サービスメニュー「ConSite（コンサイト）」の提供を開始しました。海外においては、代理店との連携強化に取り組むと共に、地域ニーズに合致した製品の拡充と拡販に努めました。

マイニング機械については、需要が比較的堅調なロシアCIS等での積極的な受注活動に引き続き注力しました。

以上の結果、連結売上高については、前第2四半期連結会計期間以降、TCM株式会社の全株式を売却し連結対象外となったため、3,737億円（前年同期比0.8%減）となりました。営業利益はマイニング機械の売上の減少があったものの、中国の売上増加や資材費低減等により、250億円（同19.6%増）、経常利益については、168億円（同22.0%増）となりました。

販売体制の効率化、原価低減等を推進し、目標達成に取り組めます。

連結業績予想については、マイニング機械の売上の減少を見込むものの、日本・中国・ロシアCISの売上増加、及びクレーン事業の売上増加、資材費低減、在庫削減等の経営効率化を考慮し、売上高8,300億円（前期比7.5%増）、営業利益830億円（同61.2%増）としています。引き続き厳しい環境が継続されることが予想されますが、販売体制の効率化や部品販売等のソフト事業の充実を図ると共に、原価低減等を推進し、目標達成に取り組めます。

なお、中間配当金につきましては、前期比5円増配となる1株当たり25円とすることを2013年10月28日開催の取締役会において決議いたしましたことをご報告いたします。

株主の皆様におかれましては、当社グループの企業活動に引き続きご理解を賜りますと共に、今後とも一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2014年3月期連結業績予想

■ 売上高

8,300 億円
前期比 7.5%増



■ 営業利益

830 億円
前期比 61.2%増



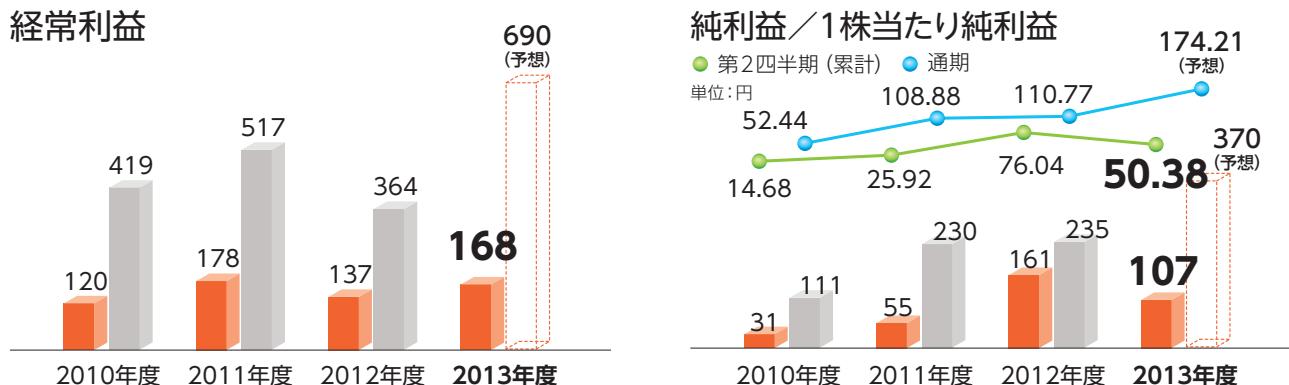
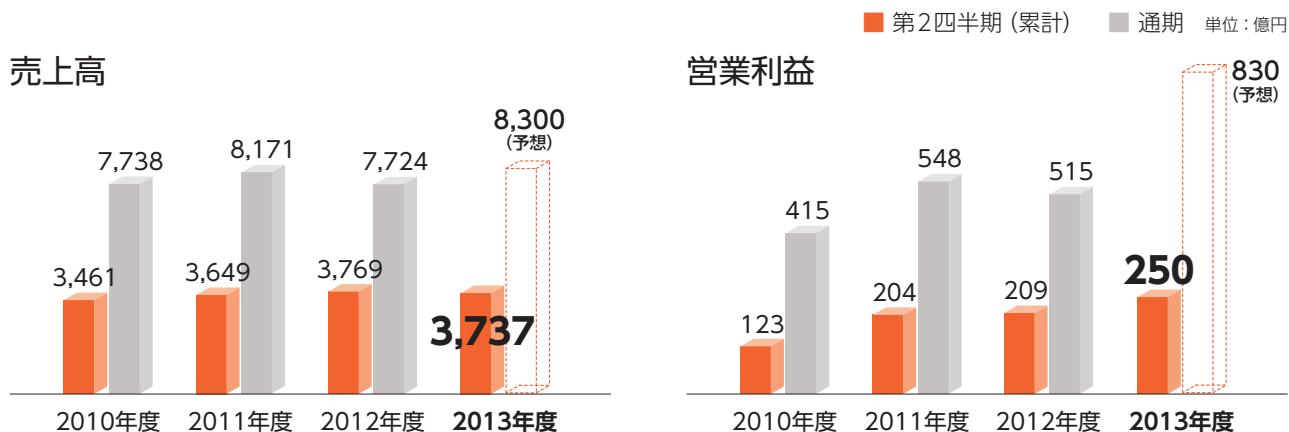
1株当たり配当金



連結業績ハイライト

ポイント

- 1 アジア・オセアニア・北米向けが減少するも、日本・中国を中心に増加、TCMの連結対象外による影響もあり売上高は、**前年同期並み**。
- 2 営業利益は、マイニング機械の売上が減少となるも、**原価低減・為替影響で前年同期比19.6%の増益**。
- 3 当四半期純利益については、特別利益の減少が影響し、**前年同期比33.6%減益**。





建設機械

建設関連	中型・小型油圧ショベル、ホイール式油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダ、バックホウローダ、クローラクレーン、基礎工事用機械、道路機械、ブルドーザ、クローラ式キャリア、モーターグレーダ
マイニング関連	超大型・大型油圧ショベル、油圧バックホウ船、リジッドダンプトラック、アーティキュレートダンプトラック
環境関連	自走式クラッシャ、土質改良機、シュレッダ、木材リサイクル機、小口径管推進機、スクリーン
商品開発関連	スーパーロング掘削機、解体作業機、スクラップ処理機、林業仕様機、電動ショベル、無線式操縦システム、双腕仕様機
機器関連	建設機械用油圧機器、汎用油圧機器
レンタル関連	建設機械及び建設関連製品の賃貸
中古車関連	中古建設機械等の販売
サービス関連	建設機械等の保守及びサービス、特定自主検査、部品販売、技術研修
ソフト関連	コンピュータソフトウェアの開発・販売及び保守、建設機械・部品等の運送、建設機械の割賦販売及びリース等のファイナンス



超大型油圧ショベルEX8000



リジッドダンプトラックEH5000AC-3

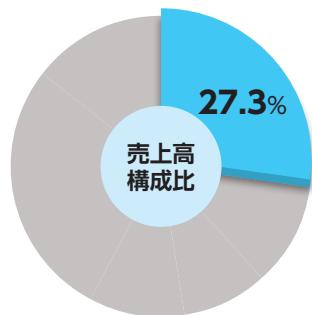


ホイールローダZW220-5B

地域別売上高の概況

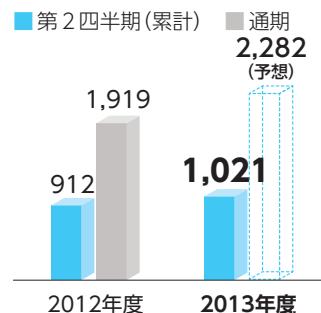
(単位：億円)

日本

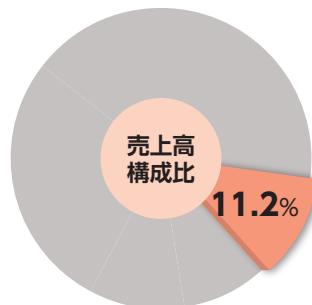


売上高 **1,021** 億円
(前年同期比 **12.0%**増 )

- 公共投資の大幅な増加、住宅着工の増加により好調に推移。
- レンタル・セールス・サービスが一体となって施工の効率化・合理化・コスト削減等をトータル提案。

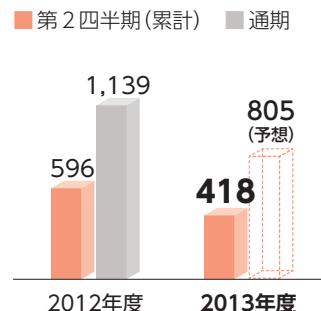


米州

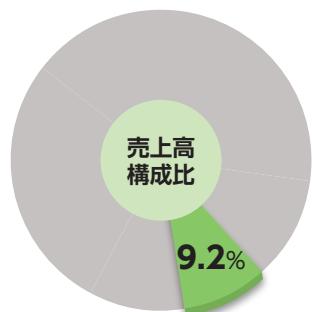


売上高 **418** 億円
(前年同期比 **29.9%**減 )

- 個人消費の増加や設備投資の持ち直しはあるが公共投資の減少が続く。
- レンタル業界の買い替え需要の取り込み、排ガス規制に対応した新型機の拡販に努める。

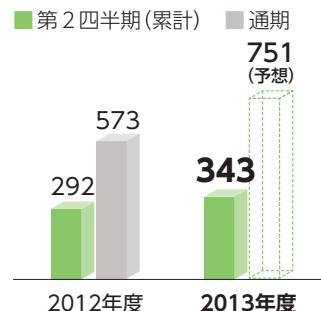


欧州



売上高 **343** 億円
(前年同期比 **17.7%**増 )

- 英独仏で景気回復の兆しが見られるが、欧州全体では先行き不透明感続く。
- 需要は西欧の一部地域で若干の回復傾向にあり、欧州全体では下げ止まりつつある。
- 低燃費型の油圧ショベルやホイールローダのラインアップを拡充。



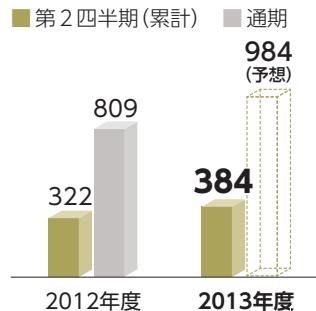


(単位：億円)

ロシアCIS・アフリカ・中近東

売上高 **384**億円
(前年同期比 **19.3%**増 )

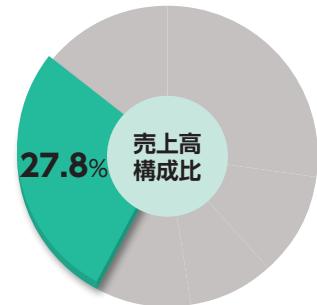
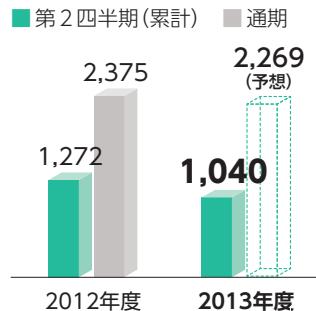
- ロシアCISでは経済は引き続き停滞。
- ロシア新工場で現地生産に向けて準備中。
- トルコ大手コントラクターの大型工事案件等の拡販に注力。



アジア・大洋州

売上高 **1,040**億円
(前年同期比 **18.3%**減 )

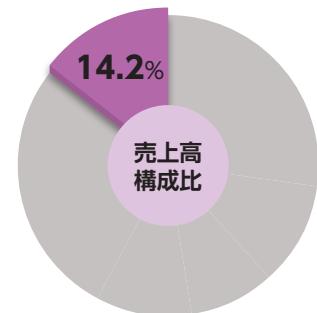
- インドネシアでマイニング機械の需要減少。
- タイ、マレーシアでも需要減少。
- インドでは需要は減少したが、油圧ショベル市場で高いマーケットシェアを維持。
- オーストラリアで新型ミニショベルの拡販努力。



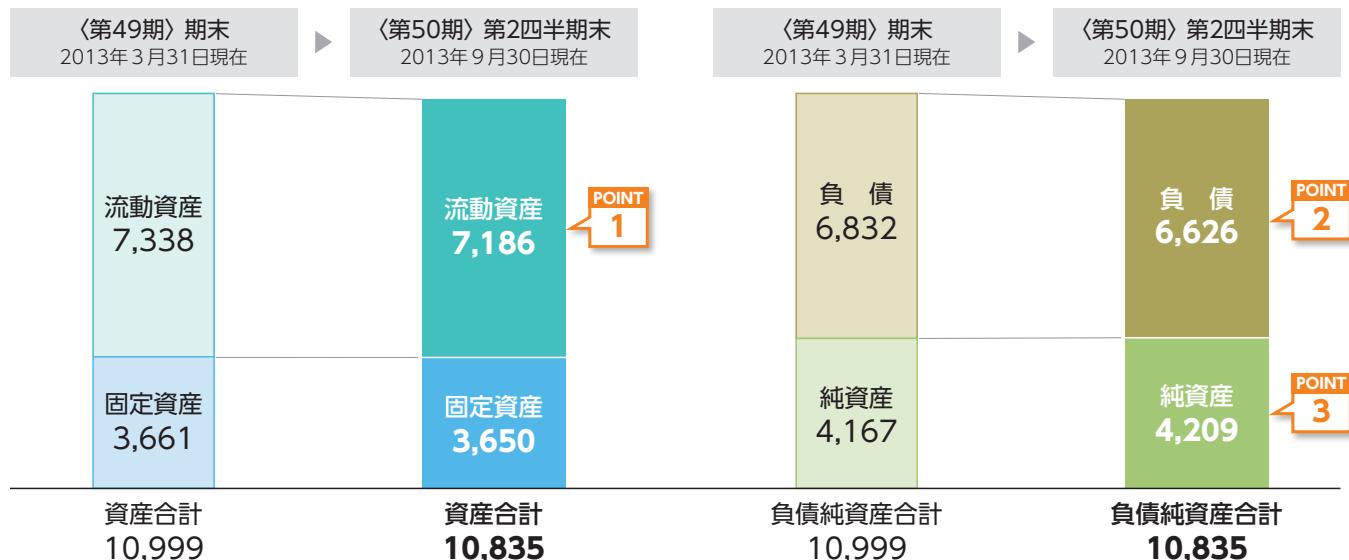
中国

売上高 **531**億円
(前年同期比 **41.8%**増 )

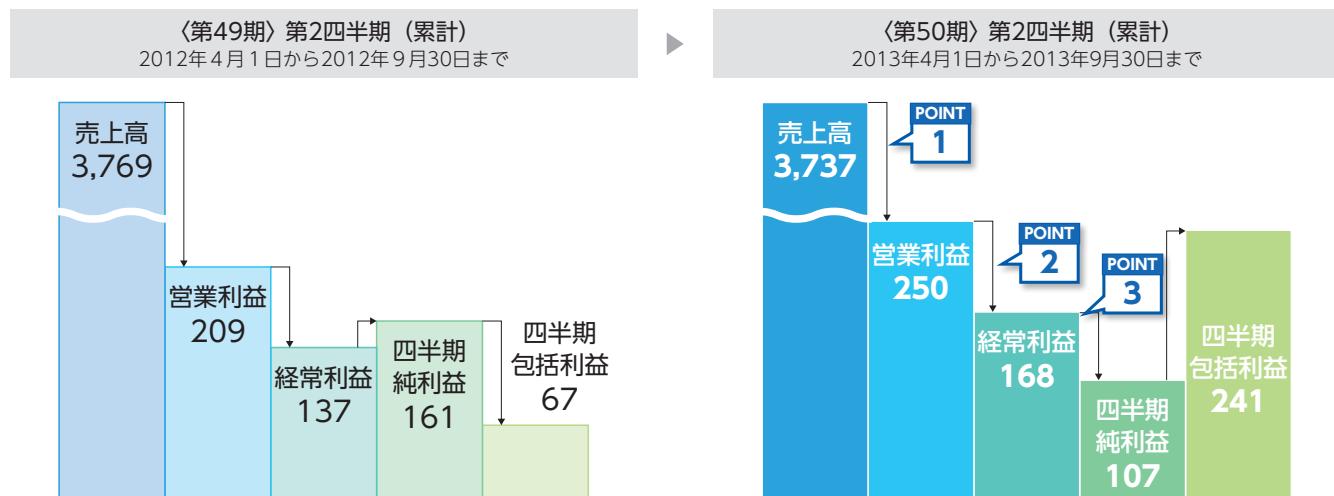
- 個人消費が堅調、生産も拡大基調。
- インフラ投資の増加により需要も増加。
- サービス・部品販売管理システムの本格活用、代理店との協力関係強化を継続。



四半期連結貸借対照表の概要 (単位：億円)



四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書の概要 (単位：億円)





四半期連結貸借対照表のポイント

POINT

1

流動資産

主に売掛債権(受手・売掛金及びリース債権・投資資産計)が減少した結果、前年度末比153億円の減少。

POINT

2

負債

主に支払手形及び買掛金が194億円減少したことなどにより、前年度末比206億円の減少。

POINT

3

純資産

退職給付に係る調整累計額を計上したものの、四半期純利益、為替換算調整勘定、その他有価証券評価差額金等により、前年度末比43億円の増加。

四半期連結損益計算書のポイント

POINT

1

営業利益

マイニング機械の売上が減少となるも、原価低減等により前年同期比19.6%の増加。

POINT

2

経常利益

為替影響もあり前年同期比22.0%の増加。

POINT

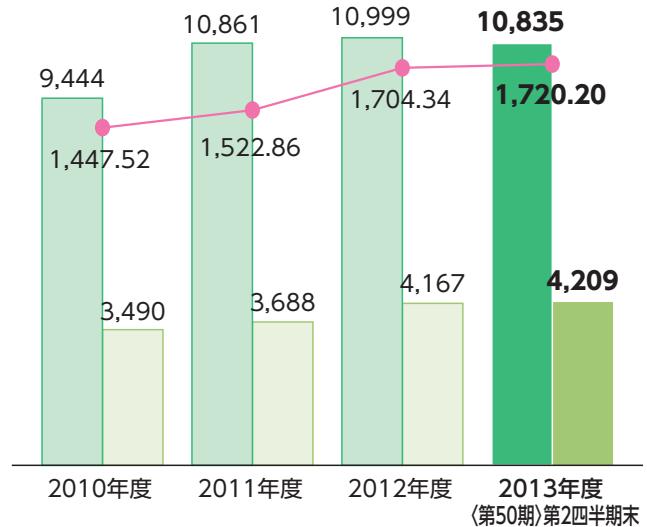
3

四半期純利益

特別利益の減少が影響し、前年同期比33.6%の減少。

■ 総資産 ■ 純資産 (単位: 億円)

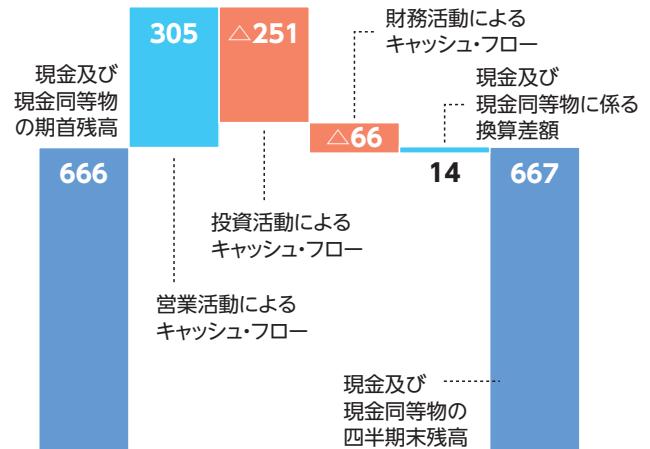
● 1株当たり純資産額 (単位: 円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 億円)

〈第50期〉第2四半期 (累計)

2013年4月1日から2013年9月30日まで



ニュース&トピックス

4月

▶ **世界最大級の建機見本市『BAUMA2013』に出展**



イベント P10をご覧ください。

6月

▶ 第49回定時株主総会開催

7月

▶ 2014年3月期第1 四半期決算発表

▶ **ASTACO-SoRaが福島第一原子力発電所で稼働開始**



フォーカス P11をご覧ください。

9月

▶ **中山由起枝選手、世界クレール射撃選手権大会で銀メダル獲得!!**



スポーツ P10をご覧ください。

最新情報

10月

▶ 2014年3月期第2 四半期決算発表

▶ 自転車耐久レース「かすみがうらエンデューロ」に、藤田征樹選手がゲストライダーで参加



今後の活動については、下記をご参照ください。

IRカレンダー (予定)





スポーツ

中山由起枝選手、世界クレー射撃選手権大会で銀メダル獲得!!

9月22日から23日にリマ(ペルー)で開催された、世界クレー射撃選手権大会の女子トラップ種目で、当社クレー射撃部の中山由起枝選手が銀メダルを獲得しました。

世界選手権における同種目での銀メダル獲得は、中山選手が日本人初の快挙です。

中山選手は、予選3位(トップと同点)で、6名で行われるセミファイナルに進み、ここでアメリカ、ロシアの選手と同点の2位となりました。1位で通過したロンドンオリンピック金メダリストのジェシカ・ロッシ選手(イタリア)と1対1で優勝を決めるゴールドメダルマッチへの進出をかけて、3選手によるシュートオフが行われ、競り勝った結果、決勝へとコマを進め、見事銀メダルを獲得しました!!



【中山選手のコメント】



お蔭様で、ペルーにて開催された世界選手権大会にて銀メダルを獲得することができました。株主の皆様の良い報告を届けることができ、とても嬉しく思っています。引き続き2016年に開催されるリオ・オリンピックに向けてチャレンジしていきますので応援よろしくお願いたします。

イベント

世界最大級の建機見本市『BAUMA2013』に出展

4月15日から21日の7日間、ドイツの新ミュンヘン国際見本市会場で世界最大級の建設機械見本市「BAUMA2013」が開催されました。

本展示会は3年ごとに開催され、今回で30回目を迎えました。

今回は、約57万㎡のスペースに世界57カ国から3,420社が出展、200カ国以上から約53万人が来場し、BAUMA史上最大の総面積・出展社数・来場者数となりました。

当社グループは、5,600㎡のブースに最新の排出ガス規制に適合した新型の油圧ショベルZAXIS-5シリーズ、ホイールローダZW-5シリーズをはじめとする全33台の製品の展示・デモンストレーションを行いました。

当社グループのブースには多数のお客様が来場され、本展示会期間中に商談が成立するなど、大盛況のうちに幕を閉じました。



ASTACO-SoRa

～地域の復興を願い開発された双腕ロボット～

福島に再び青い空を——そんな想いから命名されたのが双腕ロボット「ASTACO-SoRa（アスタコ・ソラ）」です。

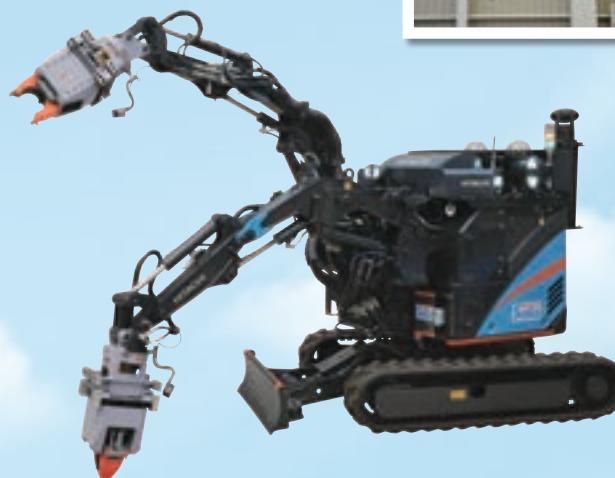
東京電力福島第一原子力発電所での利用を想定して開発されたこの双腕ロボットは、株式会社日立パワーソリューションズと共同で開発したものです。

ASTACO-SoRaは、当社のミニショベルZAXIS17Uをベース機にした遠隔操作型の双腕ロボットで、そのアーム先端には福島第一原子力発電所建屋内での作業に対応できるカッターやグラブ、ドライバドリル等が装着できます。

回転及びズーム機能を備えたLED付カメラ全6台を通じて操作盤で現場状況や作業状況をモニタリングしながら遠隔操作。このほか音声状況を伝えるマイク、車幅計測や距離測定をするレーザーシステムも遠隔操作を効果的にフォローします。

実際に2013年7月から福島第一原子力発電所においてガレキ等の障害物の撤去作業で活用されています。いつか、命名に込めた想いが実現する日を信じて——

さまざまなアタッチメントを装着できるアーム先端。アタッチメントの動きはフレキシブルチューブ先に搭載したカメラでモニタリング。



4本のレバーとさまざまなボタンでASTACO-SoRaを遠隔操作する操作盤。5面のモニターを切り替えながら監視。

ASTACO-SoRa (ロボット本体) の仕様

重量：2.5トン
 外形寸法 (突起部除く)
 幅：980～1,280mm (クローラ可変)
 長さ：1,570mm
 高さ：1,500mm (アーム込み最低)
 駆動時間：約15 時間 (連続使用の場合)
 吊上荷重：両腕約300kg/片腕約150kg
 走行速度：約2.6km/h
 操作方式：無線 (非常時：有線)

ロボット本体の開発には、NEDO委託事業により培われた技術的なノウハウも活用されています。



■ 会社概要

商号	日立建機株式会社 Hitachi Construction Machinery Co.,Ltd.
本店所在地	東京都文京区後楽二丁目5番1号
資本金	81,576,592,620円
従業員数	4,710名
ホームページ	http://www.hitachi-kenki.co.jp (電子公告も上記ホームページよりアクセスいただけます。)



日立建機

検索



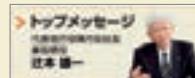
株主・投資家の皆様に有用な情報をまとめて掲載しています。

株主・投資家向け情報

<http://www.hitachi-kenki.co.jp/ir/index.html>

こちらのページでは以下のようなコンテンツや、さまざまなIR資料をタイムリーにご覧いただけます。

● トップメッセージ



日立建機グループのこれから、などを会長、社長の対談を通じた生の声でご紹介しています。

● 中期経営計画



成長に向けた取り組みである中期経営計画「Go Together 2013」についてご紹介しています。

● 個人投資家の皆様へ 日立建機ってどんな会社？



日立建機グループをわかりやすく解説。株主様の工場見学会などさまざまな取り組みについてもお伝えしています。

役員・委員会

取締役

取締役会長
木川 理二郎



※取締役
谷垣 勝秀



※取締役
三田村 秀人



※取締役
三好 崇司



取締役
有馬 幸男



取締役
岡田 理



取締役
田部井 三浩



取締役
辻本 雄一



取締役
徳重 博史



取締役
水谷 努



執行役

代表執行役	執行役社長	辻本 雄一※
代表執行役	執行役副社長	徳重 博史※
	執行役専務	有馬 幸男※
	執行役専務	水谷 努※
	執行役常務	落合 泰志
	執行役常務	田部井 三浩※
	執行役常務	徳川 義和
	執行役常務	平岡 明彦
	執行役常務	廣田 則夫
	執行役	太田 賢治
	執行役	大野 俊弘
	執行役	桂山 哲夫
	執行役	金原 正起
	執行役	杉山 玄六
	執行役	住岡 浩二
	執行役	本井 正
	執行役	横山 昇吾

※は取締役を兼務しています。

指名委員会

木川 理二郎
谷垣 勝秀
三田村 秀人
三好 崇司
辻本 雄一

報酬委員会

辻本 雄一
谷垣 勝秀
三好 崇司

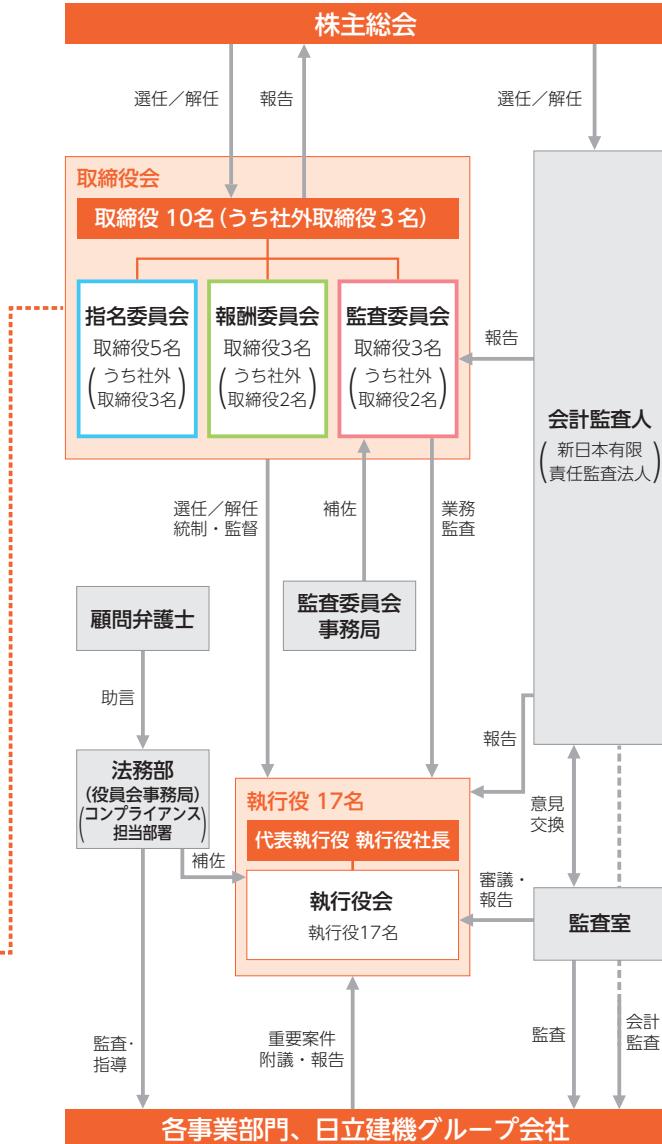
監査委員会

岡田 理
谷垣 勝秀
三田村 秀人

※は社外取締役です。



コーポレートガバナンス体制 概要図



株式の状況

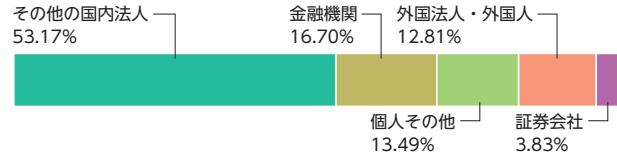
発行済株式の総数

215,115,038株

株主数

48,347名

株式所有比率



大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社日立製作所	108,058	50.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,584	5.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8,356	3.93
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	2,235	1.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,167	1.02
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカ운 ト ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	2,021	0.95
J Pモルガン証券株式会社	1,877	0.88
BNPパリバ証券株式会社	1,816	0.85
ソシエテジェネラルセキュリティーズ ノースパシフィックリミテッド	1,443	0.68
株式会社日立アーバンインベストメント	1,295	0.61

- (注) 1. 当社は、自己株式2,678,407株を保有していますが、上表には含めていません。
2. 持株比率については、自己株式2,678,407株を除いて算出しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
剰余金の配当の 基準日	毎年3月末日及び毎年9月末日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 (http://www.hitachi-kenki.co.jp)
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っています。
郵便物送付先、 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話（0120）49-7009（フリーダイヤル）
住所変更、単元未満 株式の買取・買増等 のお申出先について	お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きについては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
未支払配当金の お支払いについて	株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
上場株式配当等の支 払に関する 通知書について	配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）又は配当金領収証にてお受取りの場合、お支払の際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様は、お取引の証券会社等にご確認ください。

今後の見通しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、将来に関する見通し、業績に関する計画等の歴史的事実ではないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。



〒112-8563 東京都文京区後楽二丁目5番1号
<http://www.hitachi-kenki.co.jp>



見やすく読みまちがえに
くいユニバーサルデザインフ
ォントを採用しています。

